

2019 年度

事業報告書

自 平成31年 4月 1日 至 令和 2年 3月31日

社会福祉法人柏の里めむろ

障害福祉サービス事業所「オークル」

地域活動支援センター「アットホームめむろ」

短期入所事業所「ウェルカムめむろ」

共同生活援助「グループホーム明幸寮」

共同生活援助「ケアホームウェルカムめむろ」

日中一時支援事業所「ウェルカムめむろ」

行動援護事業所「すきっぷ」

日中一時支援事業所「すきっぷ」

2019 年度

事業報告にあたって

2019 年度における当法人の事業活動並びに関係予算の執行については、理事会、評議員会で承認された事業計画に基づき、それぞれの会議等において事前検討を行ったうえで実行に移され、計画の通り事業を進めてきたが、2019 年 11 月に発生した新型コロナウイルスの感染拡大は深刻さを増し、2 月 28 日北海道「緊急事態宣言」が出されたことを契機に感染の拡大防止のため、そして命と健康を守るために当事業所は 3 月 1 日から 3 月 15 日まで休業とし、短期入所、日中一時事業の一部は年度内利用を控えていただいた。そのため、経営的にはかなり厳しい年となった。施設内において行事内容を変更し、職員、利用者にはマスクの着用、手洗い、消毒等により徹底して感染経路を断つことに努め、職員、利用者各自出勤前に体温を計測し、発熱等の症状が認められる場合には出勤停止を徹底し、さらに換気の悪い密閉空間、多数集まる密集場所、まじかで会話や発声をする密集場面の、3 つの条件が同時に重なるような場面を避ける対応をとった。利用者においては発熱などの風邪の諸症状がみられるときは利用を控えていただくなど利用者の状況に応じた対応を行い、面会者、委託業者等については感染経路の遮断という観点から可能な限り玄関先で対応するなど制限を設けた。

そうした中、運営全般では、「柏の里めむろの理念」のもと、法人制度改革への対応をはじめ、新規事業（新グループホーム、ショートステイ開設）を推し進め、令和2年4月より利用を開始することができた。

また、「ガバナンスの強化」「透明性の確保」「財務規律の強化」「地域の公益的な取り組み」をより具体的に実践していく取り組みを継続した。

研修事業では、人材育成委員会の企画のもと、充実した内容で計画どおり実施することができた。

また、利用者の会「なかよし会」も内容の更なる充実を図りながら実施することができ、旬に応じた行事やスポーツ交流事業等の行事も行われ、交流や親睦も図られた。

そのほか、権利擁護についても、権利擁護委員会を中心として事前の検討等を充分に行いながら実施することができた。

課題も残しているが、当初の計画に向けて 2019 年度事業を進めることができたことは、関係各位の協力のたまものである。

I 運営管理の部

1. 1年のあゆみ

月・日(曜)	場 所	内 容	摘 要
4・1(月)	オークル	職員辞令交付式	職員
4・1(月)	オークル	通園式	なかよし会
4・2(火)	帯広あおぞら	帯広あおぞら第22回入学式	施設長：古川
4・2(火)	十勝プラザ	自閉症啓発デイ出展協力販売	課長：岡
4・6(土)	リスどん	「リスどん」9周年記念販売	リスどん
4・10(水)	リスどん	視察研修受け入れ(8名)	南富良野町手をつなぐ育成会
4・11(木)	役場	役場実習辞令交付式	就労希望利用者
4・14(日)	オークル	環境整備・排水溝掃除(61名)	保護者、職員、利用者
4・17(水)	保健福祉センター	第1回西十勝障害支援区分認定審査会	古川(委員長)
4・15(月)	阿寒(鶴雅)	道東知的障がい福祉協会定期総会	施設長古川、課長成田
4・15(月)	阿寒(鶴雅)	道東知的障がい福祉協会第1回支援研究委員会	係長：藤田暁
4・19(金)	めむろ一ど	消費者協会定期総会	施設長：古川
4・22(月)	オークル	映画鑑賞会	なかよし会
4・23(金)	オークル	オークル屋上防水改修工事3社見積合せ	川田工業、佐藤工務店、岡田建設
4・27(土)	芽室	クリーンアクションめむろ	利用者6、職員2
5・9(木)	オークル	吉岡経営会計指導	
5・10(金)	建設予定地	GS・SS施設建築予定地近隣住宅挨拶	柴田理事長、古川
5・10(金)	建設予定地	GS・SS施設建築予定地の地盤調査	株式会社東成
5・11(土)	りすどん	令和改元イベント	
5・12(日)	西士狩地区	花見	施設長：古川
5・13(月)	オークル	カレーバイキング	なかよし会
5・13(月)	オークル	職員採用(1名)	エッシー朋子
5・17(金)	アットホーム	支援ネットワーク総会	丹羽
5・20(月)	オークル	内部監査(決算監査)	菊池監事、黒田監事
5・20(月)	オークル	オークル屋根防水工事開始	川田工業
5・20(月)	めむろ一ど	芽室町商工会通常総会	施設長：古川
5・20(月)	足寄	道東知的障がい福祉協会第2回支援研究委員会	係長：藤田暁
5・21(火)	芽室役場	色つきごみ袋入札	施設長：古川
5・23(木)	オークル	見学受入れ(8名)	こぶしの花
5・22(水)	札幌	北海道知的障がい福祉協会定期総会	施設長古川、課長成田
5・23(木)	札幌	全道施設長セミナー	課長：成田
5・24(金)	オークル	見学受入れ(49名)	芽室幼稚園
5・24(金)	帯広	福祉の広場総会	主任：藤田(久)
5・28(火)	オークル	第136回理事会	理事、監事
5・29(水)	保健福祉センター	第2回西十勝障害支援区分認定審査会	古川(委員長)
5・31(金)	あさひ荘	十勝知的障害福祉施設協議会課長相当職部会	課長：岡
6・3(月)	オークル	パークゴルフ大会	なかよし会
6・5(水)	オークル他	消防機器点検	システムオン
6・5(水)	オークル	オークル屋根防水工事終了	川田工業
6・6(木)	北海道ホテル	福利厚生センター会員交流事業実行委員会	職員：丹羽
6・10(月)	オークル	民生委員さんとの交流会	民生委員、利用者
6・10(月)	オークル	工事監理の3社見積合せ	アーバン、ROA、永田
6・10(月)	オークル	第137回理事会	理事、監事
6・10(月)	オークル	保育実習受入れ(2名)	大谷短期大学2年
~21(金)			
6・10(月)	オークル	現場実習受入れ(1名)	帯広養護高等部3年

月・日(曜)	場 所	内 容	摘 要
～14(金)			
6・12(水)	オークル	第81回評議員会(定時評議員会)	評議員、監事
6・12(水)	壽鮪	第138回理事会	理事、監事
6・13(木)	オークル	パンバイキング	なかよし会
6・14(金)	ふれあい交流館	芽室町社会福祉協議会第2回理事会	成田(理事)
6・17(月)	オークル	リスどん照明器具LED化工事3社見積合せ	朝日、電光ビルド、大丸
6・17(月)	温根湯	道東みどり会事前打ち合わせ	藤田暁、利用者1
6・17(月)	オークル	町とグループホームについて打ち合わせ	柴田理事長、古川
6・17(月)	法務局	資産の総額の変更登記	業務執行理事：古川
6・17(月)	法務局	理事及び理事長の変更登記	業務執行理事：古川
6・17(月)	オークル	第1回避難訓練	利用者、職員
6・17(月)	アットホーム	第1回避難訓練	利用者、職員
6・17(月)	すきっぷ	第1回避難訓練	利用者、職員
6・18(火)	明幸寮	第1回避難訓練	利用者、職員
6・18(火)	ウェルカム	第1回避難訓練	利用者、職員
6・19(水)	オークル	吉岡経営会計指導	吉岡経営：深澤氏
6・20(木)	芽室幼稚園	芽室幼稚園交流会	園児・利用者
6・21(金)	芽室幼稚園	芽室幼稚園交流会	園児・利用者
6・23(日)	アットホーム	支援ネットワーク美化活動(47名)	利用者、保護者、職員
6・26(水)	かしわ保育所	十勝立正福祉事業会第2回理事会	古川(理事)
6・27(木)	なかむら薬局	せっけん講座	講師：岡、小笠原
6・29(土)	温根湯	道東みどり会	職員3名、利用者6名
～30(日)			
7・1(月)	オークル	職員1名採用	遠藤舞栄養士
7・1(月)	リスどん	リスどんLED化工事の契約	株式会社朝日
7・1(月)	保健福祉センター	第3回西十勝地区障害程度区分認定審査会	古川(委員長)
7・4(木)	ふれあい交流館	秤検査	商工観光課
7・6(土)	南富良野	南富良野からまつ園の体育&レク見学	職員7名
7・8(月)	オークル	オンブズマン事業第1回施設訪問受入(5名)	道東知的障がい福祉協会
7・8(月)	リスどん	リスどんのLED化工事終了	株式会社朝日
7・10(水)	帯広の森	第16回道東知協アジャタ大会	利用者6職員2
7・11(木)	帯広	決算書の読み方と施設経営の活用法研修	管理者：成田
7・17(水)	オークル	内部監査	菊池監事、黒田監事
7・18(木)	オークル	芽室町人権の花贈呈式	芽室幼稚園児・利用者
7・19(金)	オークル	吉岡経営会計指導	吉岡経営：深澤氏
7・21(日)	帯広・中札内	日帰り旅行(競馬場、とから村フロマージュ)	ケアホーム利用者
7・22(月)	保健福祉センター	「G・S及びS・S施設」新築工事入札	理事4、監事1、町1
7・22(月)	オークル	第139回理事会	理事、監事
7・23(火)	オークル	税務調査受入れ(1名)	帯広税務署
～24(水)			
7・24(水)	保健福祉センター	第4回西十勝地区障害程度区分認定審査会	古川(委員長)
7・25(木)	保健福祉センター	G・S及びS・S施設新築第2回住民説明会	理事長、古川、成田
7・26(金)	帯広	地域オープン研修会	統括：古川
7・26(金)	帯広	十勝施設協議会第2回課長相当職部会	課長：岡
7・27(土)	けいせい苑	けいせい苑夏まつり出店協力	職員1、利用者1
7・29(月)	帯広	十勝施設協議会施設長会議	管理者：成田
7・29(月)	オークル	夏休みボランティア体験2019①(1名)	芽高3年1
7・30(火)	オークル	民生児童委員低所得者部会体験学習(8名)	民生児童委員
7・31(水)	札幌	権利擁護指導者養成講座	主任：嶋中
～8・2(金)			

月・日(曜)	場 所	内 容	摘 要
8・1(木)	オークル	夏休みボランティア体験 2019②(1名)	芽小3年生1
8・1(木)	なごみ	「夏だ！教えて、ティーチャー」パン販売	利用者2、職員1
8・2(金)	リスどん	リスどん祭り第1日目	
8・2(金)	リスどん	夏休みボランティア体験 2019③(5名)	芽高1年2、芽高2年2 芽小5年生1
8・3(土)	リスどん	リスどん祭り第2日目	
8・3(土)	リスどん	夏休みボランティア体験 2019④(3名)	芽高1年1、芽高2年1 芽高3年1
8・7(水)	オークル	夏休みボランティア体験 2019⑤(2名)	芽高2年2
8・9(金)	愛菜屋	とうきび祭りパン販売	利用者1、職員1
8・9(金)	オークル	夏休みボランティア体験 2019⑥(1名)	芽高2年1
8・16(金) ～17(土)	江別	EMネットワーク北海道支部総会、施設研修会	課長：岡、主任：嶋中
8・19(月)	はまだ内科	健康診断開始	利用者、職員
8・19(月) ～30(金)	オークル	保育実習受入れ(2名)	帯広大谷短期大学2年
8・20(火)	オークル	吉岡経営会計指導	吉岡経営：深澤氏
8・20(火)	オークル	内部研修会「働き方改革と働きやすい職場環境」	職員 講師：近藤氏
8・21(水)	帯広	食品衛生責任者資格養成研修会	支援員：大崎
8・21(水)	保健福祉センター	第5回西十勝障害支援区分認定審査会	古川(委員長)
8・25(日)	めむろーど	ふれあい交流祭	
9・1(日)	帯広市	とかちマルシェ出店協力	
9・1(日)	帯広市	車椅子ファッションショー in とかち 2019 授産製品出店販売	利用者1、職員1
9・2(月) ～13(金)	オークル	実習受入れ(1名)	帯広養護学校3年
9・2(月)	祥栄ふれあい館	自然災害避難訓練	利用者、職員
9・4(水)	オークル	内部監査	菊池監事・黒田監事
9・4(水)	アットホーム	新グループホーム入居予定者説明会	利用者3、保護者4
9・7(土)	札幌ドーム	日ハム対オリックス野球観戦(希望者24名)	利用者、保護者、職員
9・10(火)	芽室町	農福連携「かぼちゃ収穫作業」開始	利用者、職員
9・10(火)	鍵谷建設	第2回GH建築打ち合わせ会議	統括：古川
9・12(木)	池田町	十知協交流パークゴルフ大会	利用者3、職員2
9・12(木)	オークル	第140回理事会	理事、監事
9・17(火)	芽室町商工会	「チラシを活用した売上アップ対策」研修	支援員：大崎
9・18(水)	保健福祉センター	第6回西十勝障害支援区分認定審査会	古川(委員長)
9・19(木)	オークル	吉岡経営センター会計指導	吉岡経営：深澤氏
9・21(土)	中札内村	秋のふれあい祭 2019 パン出店販売	利用者1、職員1
9・23(月)	新得町	こころの健康フェスティバル授産製品出店販売	利用者2、職員1
9・24(火)	鍵谷建設	第3回GH建築打ち合わせ会議	統括：古川
9・26(木)	かしわ保育所	十勝立正福祉事業会第3回理事会	古川(理事)
9・28(土)	オークル	体育祭	なかよし会
9・28(土)	帯広市	国立帯広病院まつり授産製品出店販売	利用者1、職員1
9・28(土)	アットホーム	保護者会旅行検討委員会	利用者、保護者、職員
9・29(日)	芽室中学校	芽室中学校文化祭授産製品出店販売	利用者1、職員1
9・30(月)	オークル	焼肉昼食会	なかよし会
10・1(火)	リスどん	臨時職員1名採用	支援員：水上澄生
10・1(火)	ダイイチ	赤い羽根共同募金街頭募金活動への協力	利用者3、職員1
10・1(火)	芽室幼稚園	芽室幼稚園交流会	なかよし会
10・2(水)	芽室幼稚園	芽室幼稚園交流会	なかよし会

月・日(曜)	場 所	内 容	摘 要
10・3(木)	幕別町	集団指導	佐藤環
10・3(木)	釧路方面	一泊研修旅行	なかよし会
～4(金)			
10・5(土)	芽室町	図書館祭り授産製品出店販売	利用者 1、職員 1
10・7(月)	オークル	第2回避難訓練	
10・8(火)	アット、すきっぷ	第2回避難訓練	
10・8(火)	鍵谷建設	第4回 GH 建築打ち合わせ会議	統括：古川
10・9(水)	ケアホーム、明幸寮	第2回避難訓練	
10・9(水)	釧路市	道東知的障がい福祉協会新任職員研修会	藤田暁、エッシー
～10(木)			
10・10(木)	札幌	メンタルヘルス研修会	支援員：藤田(久)
～11(金)			
10・12(土)	リスどん	リスどん秋の収穫祭	
10・12(土)	あいりす	あいりす祭り	職員 1
10・16(水)	芽室町	赤い羽根共同募金活動企業訪問	成田(社協理事)
10・17(木)	池田方面	日帰り研修旅行	なかよし会
10・17(木)	オークル	第1回福祉避難所使用協力に係る協定打合せ	
10・18(金)	リスどん	職場実習受入れ(1名)	芽室中学2年
10・18(金)	帯広の森体育館	第16回十知協アジャタ大会	利用者 6、職員 2
10・18(金)	鍵谷建設	第5回 GH 建築打ち合わせ会議	統括：古川
10・20(日)	芽室町	クリーンアクションめむろ	利用者 6、職員 1
10・22(火)	本別町	つつじの園開園 25 周年記念式典	管理者：成田
10・22(火)	鹿児島	全国知的障害福祉関係職員研究大会	古川(功労者表彰)
～24(木)			
10・24(木)	リスどん	職場体験学習受入れ(1名)	上美生中学校2年
10・25(金)	帯広の森体育館	道東知的障がい福祉協会交流ミニバレー大会	利用者 6、職員 3
10・25(金)	オークル	吉岡経営センター会計指導	吉岡経営：深澤氏
10・28(月)	SS ウェルカム	消防署の立ち入り検査	
10・28(月)	CH ウェルカム	消防署の立ち入り検査	
10・28(月)	明幸寮	消防署の立ち入り検査	
10・28(月)	オークル	手打ちそば給食	ライオンズクラブ 14 名
10・29(火)	鍵谷建設	第6回 GH 建築打ち合わせ会議	統括：古川
10・29(火)	オークル	吉岡経営センター会計指導	吉岡経営：深澤氏
10・30(水)	帯広市	社会福祉法人・社会福祉施設ブロック研修会	柴田理事長ほか 5 名
10・30(水)	保健福祉センター	第7回西十勝障害支援区分認定審査会	古川(委員長)
11・1(金)	ふれあい交流館	老連女性部袋折	
11・1(金)	西土狩福祉館	西土狩友愛会袋折	
11・8(金)	オークル	体験実習受入れ(1名)	29 歳男性
11・9(土)	とちちプラザ	福祉フェス定バル出店販売	利用者 1、職員 1
～10(日)			
11・10(土)	音更町	帯広大谷短期大学学校蘭華祭出店販売	利用者 1、職員 1
11・12(火)	オークル	内部監査	菊池監事、黒田監事
11・12(火)	鍵谷建設	第7回建築打ち合わせ会議	統括：古川
11・13(水)	オークル	第2回災害時の福祉避難所として使用の協力に関する協定打合せ	統括：古川
11・14(木)	リスどん	事業所訪問受け入れ	芽室町地域安全係
11・14(木)	オークル	第141回理事会	芽室小学校
11・14(木)	釧路	道東知的障がい福祉協会職員研修会	理事、監事
～15(金)			係長：藤田暁、長谷川
11・15(金)	オークル	吉岡経営会計指導	吉岡：深澤

月・日(曜)	場 所	内 容	摘 要
11・18(月)	札幌	北海道民間社会福祉事業職員共済会業務説明会	事務係長：横山
11・18(月)	カムカム	新グループホーム利用予定者現地見学会	利用予定者・保護者
11・18(月)	オークル	オークルまつり	なかよし会
11・20(水)	保健福祉センター	第8回西十勝障害支援区分認定審査会	古川(委員長)
11・21(木)	オークル	インフルエンザ予防接種	利用者、職員
11・21(木)	十勝プラザ	同一労働同一賃金対応のポイント研修	管理者：成田
11・22(金)	オークル	第2回オンブズマン受入れ(5名)	道東知協
11・22(金)	めむろーど	令和元年度優良商工従業員表彰	古川、小笠原、成田、 岡吉村、嶋中、丹羽
11・23(土)	士幌町	士幌町地域ふれあい広場 2019 出店販売	利用者 1、職員 1
11・26(火)	オークル	もち米寄贈受入	YMCA
11・26(火)	札幌	とから野酵母 de チャレンジドパンコンテスト	統括：古川、丹羽
11・27(水)	ふれあい交流館	芽室町社会福祉協議会第4回理事会	成田(社協理事)
11・27(水)	保健福祉センター	保護者会研修会	保護者、職員
11・29(金)	鍵谷建設	第8回建築打ち合わせ会議	統括：古川
11・30(土)	てつなん保育所	十勝立正福祉事業会芽室てつなん保育所発表会	古川(事業会理事)
12・1(日)	めむろーど	リサイクルまつり出店販売	利用者 1、職員 1
12・7(水)	かしわ保育所	十勝立正福祉事業会芽室かしわ保育所発表会	古川(事業会理事)
12・7(水)	十勝プラザ	十勝知的障がい施設協議会職員研修会	職員 11名
12・8(日)	めむろーど	「歳末たすけあい募金」街頭募金活動	成田(社協理事)
12・9(月)	オークル	餅つき	なかよし会、保護者会
12・9(月)	かしわ保育所	十勝立正福祉事業会第4回理事会	古川(事業会理事)
12・10(火)	札幌市	社会福祉施設法人役員・施設長専門研修	役員：木村、成田、古川
12・11(水)	オークル	火災設備点検実施	システムオン
12・13(金)	オークル	吉岡経営会計指導	吉岡経営深澤氏
12・13(金)	公民館	「ふれあい交流会」クリスマス会	成田(社協理事)
12・13(金)	芽室中学校	第2学年職場訪問体験学習発表会	管理者：成田
12・15(日)	公民館	歳末たすけあいチャリティーショー出店販売	利用者 2、職員 2
12・16(月)	オークル	クリスマス会	なかよし会
12・18(水)	保健福祉センター	第9回西十勝障害支援区分認定審査会	古川(委員長)
12・26(木)	十勝振興局	福祉充実計画ヒアリング	古川、成田
12・27(金)	オークル	仕事納め	なかよし会
1・4(土)	オークル	仕事始め	なかよし会
1・7(火)	オークル	内部監査	菊池監事、黒田監事
1・10(金)	鍵谷建設	第10回グループホーム建設打合わせ会議	統括：古川
1・11(土)	芽室町	氷灯夜アイスキャンドルづくり開始	利用者、職員
1・12(日)	帯広	保護者会主催ボーリング大会	保護者、利用者、職員
1・13(月)	西土狩会館	西土狩西町内会新年会	管理者・成田
1・15(水)	保健福祉センター	町内障害福祉サービス事業所意見交換会	課長・岡
1・16(木)	オークル	第142回理事会	理事、監事
1・17(金)	オークル	吉岡経営会計指導	吉岡経営・深澤氏
1・21(火)	オークル他	インフルエンザ流行のため休業	
～22(水)			
1・22(水)	帯広	特定処遇改善加算取得実務ポイント研修	係長・横山
1・25(土)	めむろーど	めむろの恵みフェスタ出店販売	保護者、職員 1
1・29(水)	鍵谷建設	第11回グループホーム建設打合わせ会議	統括：古川
1・30(木)	オークル他	消火器等一部入れ替え	
1・31(金)	阿寒	道東知的障害福祉協会臨時総会	管理者・成田
1・31(金)	帯広	十勝地区支援研究委員会	係長：藤田暁
2・2(日)	呼路歩来	手作り蠟燭教室	支援員・嶋中、長谷川

月・日(曜)	場 所	内 容	摘 要
2・6(木)	オークル	日赤奉仕団に切手寄贈	なかよし会
2・6(木)	カムカム	第2回新グループホーム利用予定者見学会	利用予定者・保護者
2・8(土)	帯広	第29回近藤商会展示販売会	利用者1、職員2
2・11(月)	新嵐山	第26回ふれあい雪中運動会	利用者、職員
2・12(水)	保健福祉センター	芽室町自立支援協議会「第1回」全体会議	古川(委員長)
2・13(木)	オークル	吉岡経営会計指導	吉岡経営・近藤氏
2・14(金)	帯広	社会福祉法人の予算策定・決算処理の実務解説	係長・横山
2・14(金)	芽室公園	第30回氷灯夜出店販売	利用者、職員
2・14(金)	帯広(藤丸)	第58回心身障害児(者)作品展示即売会	利用者、職員、保護者
2・17(月)	札幌	令和元年度北海道経営者セミナー(後期)	古川、(黒田)
2・17(月)		北海道知的障害福祉協会臨時総会	管理者・成田
2・17(月)	オークル	全道施設長研修会	
2・17(月)		現場実習受入れ(1名)	帯養高等部第3学年
2・19(水)	帯広	十知協第3回課長相当職部会総会	課長・岡
2・19(水)	保健福祉センター	第11回西十勝障害支援区分認定審査会	古川(委員長)
2・20(木)	帯広	帯広市障害者虐待防止研修会	課長・岡
2・20(木)	帯広	農業現場における障がい者雇用促進セミナー	管理者・成田、課長・岡
2・20(木)	リスどん	第3回芽室小学校事業所訪問	
2・25(月)	すきっぷ	小・中学校休校に伴う小中学生受入れ停止	新型コロナウイルスの影響
2・27(木)	オークル	健康診断	利用者、職員
2・27(木)	オークル	内部監査	菊池監事、黒田監事
2・28(金)	かしわ保育所	十勝立正福祉事業会第5回理事会	
3・1(日)	オークル他	新型コロナウイルス対策休業	
3・2(月)	カムカム	引渡立会	成田、岡、岩山、古川
3・2(月)	オークル	第142回理事会	理事、監事
3・5(木)	カムカム	表題登記完了	
	ウェルカムめむろ		
3・6(金)	カムカム	見学受け入れ(10名)	町議会議員
3・9(月)	カムカム	見学受け入れ(6名)	役場職員
3・10(火)	オークル	第82回評議員会	評議員、監事
3・16(月)	オークル	なかよし会役員選挙	なかよし会
3・16(月)	オークル	作業ご苦労さん会	利用者、職員
3・17(火)	かしわ保育所	十勝立正福祉事業会第6回理事会	古川(事業会理事)
3・18(水)	保健福祉センター	第12回西十勝障害支援区分認定審査会	古川(委員長)
3・19(木)	保健福祉センター	第2回芽室町総合保健医療福祉協議会	
3・23(月)	カムカム	保存登記完了	
	ウェルカムめむろ		
3・24(火)	オークル	吉岡経営会計指導	吉岡経営・深澤氏
3・26(木)	オークル	芽室町総合障がい者部会文書審議	古川(委員長)
3・26(木)	芽室町役場	地域活動支援センター事業委託見積書提出	古川(執行理事)
3・27(金)	ふれあい交流館	社会福祉協議会第5回評議員会	成田(理事)
3・31(火)	オークル	なかよし会修了式	なかよし会

2. 職員の配置現員状況 (令和2年3月31日現在)

法人	施設長	1名	古川誠
オークル	管理菅	1名	成田一也
	サビ菅	2名	岡秀隆、藤田暁
	支援員	13名	小笠原淑子、吉村敏弘、嶋中宏之、舘盛隼人、藤田野歩恵、藤田久栄、室田晃宏、大崎史果、長谷川友美、橋本由美(兼)、多胡恵美子、エッシー朋子、岩山優子
	事務員	2名	横山和之、木下亜紀
	栄養士	1名	遠藤舞
	看護師	1名	前塚ひさ子
	医師(嘱託)	(1名)	濱田栄一
アットホームめむろ	支援員	3名	丹羽佐智子、駒井さおり、木村裕子
グループホーム明幸寮	世話人	2名	村山恵子、明瀬幸子(代替)
すきっぷ	管理者	1名	佐藤環
	支援員	4名	佐々木由美、荒井美幸、橋本由美(兼) 中森多美子
ケ) ウェルカムめむろ	世話人	1名	竹入みか
	支援員	1名	田中邦彦
計		32名	

※合計に嘱託医師は含んでいません。

[常勤職員 24名(うち正規職員 16名) 非常勤職員 8名]

3. 会議の状況

	会議等	構成員	実施回数
会議	職員会議	全職員	12回
	サービス調整会議	支援課全職員	12回
	業務改善検討会議	成田、岡、藤田(暁)、横山、丹羽、佐藤(環)	12回
	給食会議	遠藤、成田、長谷川、業者、利用者代表	11回
	車輜運転者会議	舘盛、岡、運転業務者	12回

4. 委員会の状況

	委員会等	構成員	実施回数
委員会	コスト検討委員会	横山、岡	12回
	安全衛生委員会	藤田(久)、前塚、多胡、佐藤(環)、岡	2回
	防災・安全環境委員会	横山、佐藤(環)、藤田(暁)、嶋中、舘盛	3回
	苦情改善委員会	長谷川、大崎、藤田(暁)	11回
	利用者懇談委員会		
	業務基準推進・人材育成委員会	藤田(暁)、佐藤(環)、嶋中、成田	6回
	渉外・広報委員会	小笠原、成田、舘盛、藤田(野)	12回
	目標工賃達成委員会	大崎、丹羽、藤田(久)	12回

5. 職員研修実施状況

外部研修実績

研 修 名	実施日	場 所	参加者	主 催
全道施設長セミナー	5.22～23	札幌	成田	北海道知的障がい福祉協会
道東みどり会	6.29～30	留辺蘂	藤田暁、嶋中、長谷川	道東知的障がい福祉協会
決算書の読み方と施設経営の活用法	7.11	帯広	成田	(株)吉岡経営
地域オープン研修会	7.26	帯広	古川	慧誠会、十勝サポートネット
十知協施設長研修会	7.29	帯広	成田	十勝知的障がい施設協議会
障害者虐待防止・権利擁護指導者養成講座	7.31～8.2	札幌	嶋中	北海道知的障がい福祉協会
EM ボカシ公開講座	8.16～17	江別	岡	EMボカシネット北海道支部
食品衛生責任者資格養成研修会	8.21	帯広	大崎	帯広地方帯広衛生協会
チラシを活用した売上アップ対策研修	9.17	芽室	大崎	芽室町商工会
道東知協新任職員研修会	10.9～10	釧路	藤田暁 エッシー	道東知的障がい福祉協会
メンタルヘルス研修	10.10～11	札幌	藤田(久)	北海道社会福祉協議会
全国知的障害福祉関係職員研究大会	10.22～24	鹿児島	古川	日本知的障がい福祉協会
社会福祉法人・施設ブロック研修	10.30	帯広	柴田、古川、 小椋、明瀬 成田、木村	北海道社会福祉施設経営者協議会
心身障害児者作品展示即売会担当者研修会	11.1	帯広	大崎	心身障害児者作品展示即売会実行委員会
道東知協職員研修会	11.14～15	釧路	藤田暁 長谷川	道東知的障がい福祉協会
民間事業職員共済会業務説明会	11.18	札幌	横山	北海道民間社会福祉事業職員共済会
同一労働同一賃金対応のポイント	11.21	帯広	成田	吉岡経営センター
十勝知的障害施設協議会職員研修会	12.7	帯広	岡、藤田暁	十勝知的障害施設協議会
社会福祉施設法人役員専門研修	12.10	札幌	古川、成田 木村、(黒田)	北海道社会福祉協議会
特定処遇改善加算取得のポイント	1.22	帯広	横山	吉岡経営センター
予算策定・決算処理研修	2.14	帯広	横山	吉岡経営センター
社会福祉法人経営者実務セミナー	2.17	札幌	古川、(黒田)	北海道社会福祉協議会
全道施設長研修会	2.17～18	札幌	成田	北海道知的障がい福祉協会
虐待防止研修会	2.20	帯広	岡	帯広市
農業現場における障がい者雇用促進セミナー	2.20	帯広	成田、岡	農林水産省北海道農政事務所

内部研修

研 修 名	実施日	趣旨・内容
研修Ⅰ	8月20日	働きやすい職場環境づくりと働き方改革の全容
研修Ⅱ	8月31日	グループワーク 働きやすい職場環境づくり

6. 役員研修実施状況

研 修 名	実施日	場 所	参加者	主 催
社会福祉法人・施設ブロック研修	10.30	帯広	柴田、古川、小椋、明瀬、成田、木村	北海道社会福祉施設経営者協議会
社会福祉施設法人役員専門研修	12.10	札幌	古川、成田、木村	北海道社会福祉協議会
社会福祉法人経営者実務セミナー	2.17	札幌	古川、(黒田)	北海道社会福祉協議会

7. 体験通所受入状況

月 日	所 属	人 数
6月10日(月)～15日(土)	帯広養護学校高等部3年生徒	1名
9月2日(月)～13日(金)	帯広養護学校高等部3年生徒	1名
11月8日(金)	家庭	1名
2月17日(月)～21日(金)	帯広養護学校高等部3年生徒	1名

職場実習

月 日	体験通所者	人 数
10月18日(金)	芽室中学校2年生徒	1名
10月24日(木)	上美生中学校2年生徒	1名

8. 現場実習受け入れ

保育実習

月 日	所 属	人 数
8月19日(月)～30日(金)	帯広大谷短期大学	2名
10月19日(土)～30日(水)	帯広大谷短期大学	2名

9. 主な見学者

月 日	見学者・来訪者	人 数
4月10日(水)	南富良野手をつなぐ育成会	8名
5月23日(木)	こぶしの花	8名
5月24日(金)	芽室幼稚園(教員、園児)	49名
7月30日(火)	民生児童委員	8名
7月31日(水)	帯広養護学校(教員)	7名

10. 2019年度ボランティア状況

	ボランティア参加人数	ボランティア参加時間
4月	159名	377.5時間
5月	112名	250.5時間
6月	200名	346.5時間
7月	152名	288.0時間
8月	145名	256.5時間
9月	104名	196.5時間
10月	153名	271.0時間
11月	146名	242.0時間
12月	102名	214.0時間
1月	50名	112.0時間
2月	64名	137.0時間
3月	4名	8.0時間
合計	1,391名	2,699.5時間

参考：昨年1,440名、2,858時間

11. 日中一時支援事業利用人数（ウェルカムめむろ）

	利用者数(人)	延べ利用人数		利用者数(人)	延べ利用人数
4月	26	116	10月	16	99
5月	18	93	11月	18	104
6月	20	113	12月	26	101
7月	20	115	1月	14	83
8月	18	95	2月	17	82
9月	18	100	3月	5	45
利用者数合計 216人		延べ利用人数合計 1,146人			

参考：昨年延べ利用人数合計 796人

12. 短期入所事業利用人数（ウェルカムめむろ）

	利用者数(人)	利用日数(日)		利用者数(人)	利用日数(日)
4月	18	58	10月	17	57
5月	17	76	11月	20	84
6月	16	65	12月	17	70
7月	17	73	1月	13	54
8月	16	54	2月	16	60
9月	20	75	3月	1	2
月利用者数合計 188人		延べ利用日数合計 728日			

参考：昨年延べ利用日数合計 783日

13. 日中一時支援事業利用人数（すきっぷ）

	日中		外出		送迎		食事		入浴	
	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数
4月	17	208	12	182	16	354	10	27	0	0
5月	16	212	13	128	16	363	11	15	0	0
6月	18	199	12	78	17	355	9	15	0	0
7月	16	215	11	130	16	388	9	29	0	0
8月	16	183	12	200	15	332	8	32	0	0
9月	16	199	10	122	16	371	10	31	0	0
10月	18	223	13	132	17	412	11	32	0	0
11月	18	206	14	128	17	382	11	37	0	0
12月	17	208	14	148	17	381	11	26	0	0
1月	16	181	15	204	16	336	11	41	0	0
2月	17	170	13	133	17	316	11	35	0	0
3月	10	92	9	102	10	176	9	42	0	0
合計	195	2,296	148	1,687	190	4,166	121	362	0	0

参考：昨年延べ利用実績数合計 2,695 人

14. 共同生活援助利用人数（グループホーム明幸寮）

	利用者数(人)	延べ利用者数		利用者数(人)	延べ利用者数
4月	5	150	10月	5	155
5月	5	155	11月	5	150
6月	5	150	12月	5	155
7月	5	155	1月	5	155
8月	5	155	2月	5	145
9月	5	150	3月	5	155
延べ利用者数合計 1,830 人					

参考：昨年延べ利用実績数合計 1,825 人

15. 共同生活援助利用人数（ケアホームウェルカムめむろ）

	利用者数(人)	延べ利用者数		利用者数(人)	延べ利用者数
4月	5	128	10月	5	151
5月	5	130	11月	5	145
6月	5	148	12月	5	135
7月	5	148	1月	5	107
8月	5	135	2月	5	139
9月	5	138	3月	5	74
延べ利用者数合計 1,578 人					

参考：昨年延べ利用実績数合計 1,700 人

17. 地域貢献活動

1. 芽室町介護予防ポイント推進事業協力
2. 芽室町自立支援協議会委員長派遣協力
3. 芽室町保健医療福祉協議会委員派遣協力
4. 芽室町子ども支援センター委員派遣協力
5. 芽室町社会福祉協議会理事派遣協力
6. 芽室町社協地域福祉活動助成金審査会委員派遣協力
7. 芽室町社協ボランティア推進運営委員派遣協力
8. 十勝立正福祉社事業会理事派遣協力
9. 芽室町赤十字奉仕団使用済み切手収集協力
10. 自閉症啓発デイ運営協力
11. 芽室町障害支援ネットワーク主管
12. 西十勝障害支援区分認定審査会委員派遣協力
13. 芽室町町民清掃活動クリーンアップめむろ参加
14. 芽室町西土狩友愛会袋折交流
15. 老人クラブ連合会女性部袋折交流
16. 芽室町弥生中央町内会こぶしの花袋折交流
17. 芽室幼稚園との交流会
18. 芽室西土狩地区地域住民交流
19. 芽室町立芽室小学校巡視意見交流
20. 帯広養護学校実習受け入れ
21. 芽室町町内会大和クラブ袋折交流
22. 民生委員児童委員交流会
23. 芽室町美生老人クラブ美生地域振興会合同袋折交流
24. 芽室町上美生老人クラブ袋折交流
25. 芽室町町内会北伏古袋折交流
26. 芽室町町内会中伏古袋折交流
27. 中伏古女性学級袋折交流
28. 渋山老人クラブ袋折交流
29. 渋山婦人部袋折交流
30. 芽室町町内会祥栄白寿クラブ袋折交流
31. リスどん体験小学生受入
32. 大谷短期大学保育実習受け入れ
33. 芽室けいせい苑まつり出店協力
34. 「夏だ！おしえて、ティーチャー」出展販売運営協力
35. 有無縁仏供養法要参加
36. ふれあい交流まつり運営協力
37. とかちマルシェ出店協力
38. 赤い羽根共同募金活動
39. 芽室中学校文化祭出店
40. 福祉フェスティバル出店協力
41. あいりすまつり出店・袋折・ろうそく教室協力
42. 大谷短期大学南華祭出店協力
43. ひまわり会袋折交流
44. 土幌町地域ふれあい広場出店協力
45. 近藤商会出店協力
46. 芽室町観光協会蝋燭教室実施
47. 芽室町氷灯夜運営協力
48. ふれあい雪中運動会
49. 願恵寺袋折交流
50. 心身障害児者作品展示即売会運営出店協力

18. 地域における公益的な取組み

地域社会に貢献する取組として、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者を支援するため、地域活動支援センター利用者の利用料を無料とし、福祉サービスを積極的に提供した。
また、町内会等地域の会議開催、研修等に開放した。

II 利用者支援の部

1. 在籍人数状況

令和2年3月31日現在

オークル		アットホームめむろ		合 計
男子	女子	男子	女子	
25名	10名	4名	6名	45名
35名		10名		

2. 入所経路別状況

令和2年3月31日現在

経路	オークル		アットホームめむろ		合計
	男子	女子	男子	女子	
アットホームめむろ	17名	6名			23名
オークル			2名	3名	5名
家庭	0名	0名	2名	2名	4名
他施設	3名	2名	0名	0名	5名
高等養護学校	5名	2名	0名	1名	8名
合 計	25名	10名	4名	6名	45名

3. 月別入退所状況

平成31年4月1日から令和2年3月31日

	オークル			アットホームめむろ		
	初日在籍数	入所者	退所者	初日在籍数	入所者	退所者
平成30年4月	36名			10名		
平成30年5月	35名		1名	10名		
平成30年6月	35名			10名		
平成30年7月	35名			10名		
平成30年8月	35名			10名		
平成30年9月	35名			10名		
平成30年10月	35名			10名	1名	1名
平成30年11月	35名			10名		
平成30年12月	35名			10名		
平成31年1月	35名			10名		
平成31年2月	35名			10名		
平成31年3月	35名			10名		

4. 年齢別構成状況

令和2年3月31日現在

	オークル		アットホームめむろ		合計
	男子	女子	男子	女子	
18歳～19歳	1名	0名	0名	0名	1名
20歳～29歳	4名	2名	1名	1名	8名
30歳～39歳	8名	4名	0名	2名	14名
40歳～49歳	7名	2名	0名	2名	11名
50歳～59歳	3名	1名	2名	1名	7名
60歳以上	2名	1名	1名	0名	4名
計	25名	10名	4名	6名	45名
最高年齢	71歳	68歳	69歳	56歳	71歳
最低年齢	19歳	23歳	25歳	20歳	19歳
平均年齢	39.8歳	39.5歳	52.7歳	39.8歳	40.9歳
	39.8歳		45.0歳		

5. 実施機関別受入状況

平成31年3月31日現在

	オークル		アットホームめむろ		合計
	男子	女子	男子	女子	
芽室町	22名	9名	4名	6名	41名
帯広市	3名	1名	0名	0名	4名
計	25名	10名	4名	6名	45名

6. 2019年度 行事实施状況

	施設企画行事(なかよし会共催行事)	ともだちの輪
4月	通所式(1日) なかよし会総会(1日) 映画観賞会(22日)	
5月		
6月	パークゴルフ(3日) 民生委員さんとの交流会(10日)	
7月		
8月	ふれあい交流祭り(25日)	(ふれあい交流祭り)
9月	体育祭&給食会(28日)	
10月	一泊研修旅行(3～4日) 日帰研修旅行(17日)	
11月	オークル祭り(18日)	
12月	餅つき(9日) クリスマス会(16日) 仕事納め(27日)	
1月	仕事始め(4日)	
2月	節分(3日) 雪中運動会(11日)	
3月	なかよし会役員選挙(16日) ごくろうさん会(16日) 修了式(31日)	

その他 道東みどり会参加(6/29～30日)
道東知的障がい福祉協会施設交流アジャタ大会参加(7/10日)
十勝施設協議会パークゴルフ大会(9/12日)
十勝アジャタ大会参加(10/18日)
道東知的障がい福祉協会施設交流アミニバレーボール大会参加(10/25日)

7. 授産活動状況

令和元年度売り上げ状況

	生産科目	令和元年度	平成 30 年度
生活介護	せっけん	741, 335	769, 893
	その他	95, 100	97, 434
	椎茸	665, 513	592, 521
	ぼかし	1, 085, 919	982, 280
	蝋燭	491, 450	520, 720
就労継続 B	ごみ袋印刷	13, 832, 489	11, 906, 900
	ごみ袋配送	2, 070, 272	
	パン	9, 876, 021	10, 831, 271
	その他	526, 948	2, 254, 354
	シルク印刷	1, 136, 430	1, 338, 288
就労支援事業活動のよる収入計		30, 521, 477	29, 293, 661
アットホーム	パウンドケーキ・クッキー	3, 535, 744	3, 401, 276
	その他	525, 626	154, 170
授産事業活動による収入計		4, 061, 370	3, 555, 446
合計		34, 582, 847	32, 849, 107

平成 30 年度のごみ袋配送料はその他に入れている

[1] リサイクル石けん

利用者の高齢化、重度化に伴い、支援の個別対応の割合が増え、さらに医療面のケア等も必要な状況がある。具体的にはトイレ、着替え、食事等の日常的な生活介護（介助）が作業の時間の中にも組み込まれるなど多様化しているのが現状である。

作業に関して一人ひとりの作業が単調かつ既存の作業内容になりがちなため、今後一部の利用者に対しては技術向上を図る機会を設けながら改善していく必要がある。

利用者が行う石けん作業としては出来上がった固形石けんの石けん削り、磨き、袋詰め、ラベル作り、値札貼り、廃油処理（排出、油こし、ペール缶拭き）や機械を使用した粉碎作業等があり、個々の能力や適性に合わせ取り組んでいる。製造、計量、製品の最終チェックや技術を伴う固形石けん平行削りは職員が行っている。

ほかに洗濯物干し、作業場の清掃、ごみの排出の作業も組み入れている。また他班と協力して行う椎茸作業、コーン洗浄、ろうそく作り、アイスキャンドル作りも季節に応じて取り組んでいる。毎週火曜日には支援センターにおいて利用者 4 名がごみ袋折りに出掛けている。

収入面は既存の製品（粉、固形石けん）を中心に「安心・安全」な石けん作りに取り組み製造販売をしている。令和元年 10 月より消費増税に伴い各製品の価格の値上げに踏み切っている。固形石けん(150 g) 100 円→110 円、粉石けん(1 kg)300 円→330 円(10 kg)3000 円→3300 円ハネ固形粉碎石けん(10 kg)1500 円→1650 円となっている。ボトル石けんについては容器単価が割高で定価の 3 割を占めることから在庫のなくなった今年度 9 月をもって販売を終了している。

また、ハネ固形粉碎石けんの取引先であった(有)鈴木商産との契約は解消し現在はマナベ機工、日本海、事業所内消費に充てている。新規の販売先の開拓が必要と思われる。

廃油回収も宣伝の力を借り積極的に引き余剰の廃油については引き続き(有)十勝リサイクル(資源油脂回収事業)に買い取ってもらいコンスタントに排出して処理している。月 2 回程度の回収で一回につき 600 L（ドラム缶 3 缶分）（1 L@15 円）月約 9000 円程度で一定の収益を上げることができている。石けん総売り上げでは、減少傾向が続いている。その他少額ではあるがスニーカー洗い、手芸品の収入がある。

製造面では職員 3 名体制の中、1 名が製造に携わり随時時間のある時に引継ぎを行っている。夏の時期の粉石けんの製造は製造場所のプレハブ小屋の室温が急激に上昇すること、また作業中の利用者に健康被害を及ぼすことが予想されるため、極力猛暑の期間は製造を避け、出来る限り気温、湿度に応じた製造を行うように配慮している。固形石けんは概ね売り上げの多い上半期に集中して

製造し、常時、乾燥棚を活用し保管している。石けんの乾燥状態をよくするためのトレイ・クリアケース・乾燥棚は常に衛生を保ちながら使用部屋の窓の開閉も行っている。

資材、機材は石けん室のほか、プレハブ小屋（石けん製造・粉碎・油こし）西士狩小学校（固形石けん乾燥・薬剤保管）教員住宅（粉石けん乾燥）を利用して管理している。薬剤（苛性ソーダ・ソーダ灰）は在庫確認をし施錠して保管している。製造に必要な粉石けん製造機（釜）、粉碎機、シーラー等の機械の操作には十分留意し、日頃から衛生を保っている。冬期間は乾燥する時期であり石けん室に加湿器を設置し固形石けんの乾燥（ひび割れ）を防ぐように配慮している。

販売面では注文に対して在庫の欠品もなく安定した販売が来ているが常に先々の見通しを立てて在庫切れのないようにしている。ハネ固形粉碎石けんの需要も引き続きあり販売している。特に大口の取引先である愛菜屋の販売は、毎年売上が大きい、今年度販売スペースの縮小を余儀なくされても売り上げ自体にの影響はなかった。

地方発送の顧客や以前からの根強い愛好者の定期的な注文にも助けられているものの、今年度は新たな委託販売店の開拓には至らなかった。

宣伝面は今年度6月になかむら薬局駐車場において「石けん講習会」を実施している。石けんの基礎的な知識を得ることで「使ってみよう」という気持ちを引き出せたのではと感じた。今回は若いお母さんが対象ではあったが反響はよかった。

広報誌「柏の里だより」に石けんの情報（廃油回収・スニーカー洗い・石けんミニ情報）を掲載することで購買意欲の向上を図っている。委託販売店には随時イベント等の協力依頼を行っている。イベント販売時には「石けん使用法」のプリントを持参し配布している。

支出面においては今年度、ソーダ灰1t及び粉石けん外装袋10000枚といった大きな支出があった。何れも単年度支出ではなく3～5年といった長期的な計画の上での購入となっている。（合見積もりを立て、まとめて購入することで運賃や単価を割安にすることに心がけている。）その他、作業に必要な消耗品（袋・マスク・ゴム手袋・テープ等）を購入している。日常的に必要な水道、ガス、灯油、電気等の高熱水費のコスト削減にも努めている。暖房ストーブのサーモスタットの修繕を行っている。機械のメンテナンスやガス器具の点検も必要項目である。

今年度、毎年行われている北海道リサイクルせっけん協会のセミナーには都合により参加していない。石けん製造を中止してしまう施設もあり年々会員数の減少傾向にあるが、今後もネットワークを活用し作業技術の向上と情報収集にあたっていきたい。

作業に使用する場所は定期的に掃除や不用品の排出を行い、整理整頓及び衛生に心がけ作業に支障のあるものを身近に置かないように配慮している。

作業で出た不必要なゴミは随時、指定の場所に片付けている。

[2] 椎茸栽培

利用者さんの自発的行動を促し、オークル・家庭で落ち着いた生活が送れるように支援することを心掛けている。

収入面について、椎茸は1g=1円で販売し、規格外品は半額で販売している。なめこ植菌は完了。普段は捨てるホダ木端材の利用ではあったが、菌が回っている状況であるため湿度の高い、直射を避ける場所での管理をしている。次年度に収穫を予定している。なめこ発生までの計画書を作成できていなかったため、今後、作成をする。乾燥椎茸製造が達成できず、次年度、乾燥に使用する椎茸を月単位で確保し実行に移す予定である。

製造面について、生産効率を考えての各ホダ木の浸水・棚入れ・棚出し日を記載する管理表は有効なため、継続して使用する。夏場は温度も高く、発生速度が早いため、収穫はこまめに行っている。生産は、椎茸発生につながるように、元気なホダ木は寒い、熱い時期に、比較的年数を重ねたホダ木は気候の緩やかな春秋に充てている。現在、主に使用しているホダ木は、平成27年度（A-910）約1000本、平成28年度（5K-16）約1000本、平成29年度（5k-16）約2,000本、平成30年度（A-950, A-560）2,000本であり、エバーフローの活用や休ませ場のホダ木に散水をして発生しやすい状況を作っている。ホダ木に「菌の名前」「植菌年度」札を表示して管理を行っている。

販売面について、収穫した椎茸は主に愛菜屋で販売している。（330g=300円）他商品の外販時や袋折り時にも椎茸販売を行い、好評であった。愛菜屋販売について、ほぼ完売ではあるが昼過ぎに40袋以上納めると売れ残ることがあった。

宣伝広告面については愛菜屋納品時、袋折り、外販時に宣伝を行った。
支出面については、主に原木、ドリル刃、こま菌、ナイロンに支出している。

〔3〕 EM ボカシ

利用者支援においては、利用者さんの自発的行動を促すとともに、オークル・家庭で落ち着いた生活が送れるように支援することを心掛けた。

内容としては、日々の関わりや職員の打合せを通して利用者さんの特性を理解することに努めた。書き物ができる、汚れが気になる、粉物が好きと興味のある事や個性に合わせて作業内容を考え支援した。また、情緒の波が見受けられる時は、安心できるように本人の好きな物品を用意し落ち着きの時間を確保した。利用者さんが何を思っているのかを大切に、支援の根拠となる行動の記録を取り、何を目的としているのか考え行動を応援できるように努めた。先の見通しをつけ落ち着きにつなげる為班全体で作業に入れるように配慮することと、次に何をするのかを知らせる事により先の見通しがつけられスムーズに作業に入れている。また、開始・終了の号令を意識することにより作業と休み時間のメリハリをつけた。急な予定変更にも対応できる様にするため、予定表を作成している。

収入面は春（4月）秋（10月）EMボカシキャンペーンを行い、売上向上を目指した。5kg 増量（600g）を内容としている。清水町「コスモスファーム」との取引を令和元年 12 月に開始している。（年間通し毎月 200k g）

製造面については、在庫過多防止の為例年の販売量を参考に在庫を確保している。作業場スペース確保と利用者さんが作業に取り組みやすいように配慮し効率化を目指した。コスモスファーム納品分を見越して年間（特に冬場）EMボカシ作業の取り組みがあった

販売面については、品質保持・向上のため、製品の pH を確認を行っている。作業場の区分けを明確にし、特に冬場ロウソク作業を同じスペースで行うため、異物混入に配慮した。養生室（EMボカシ発酵管理場）の温度管理を徹底した。EMボカシ仕込み時、蓋にかませるナイロンを二重にすることで家畜用発酵コンテナの密閉度を向上させている。

宣伝広告面については、秋のEMボカシキャンペーン時に新聞等で宣伝をした。販売時などにパンフレット配布、説明を行った。

支出面について、コスト低減のため繁忙期以外には、乾燥室のヒーターを 2 台あるところを 1 台のみ稼働し電気代節約に努めた。

その他、ロウソク作業にて、例年作業活動している児童館の取り壊しを受けて、冬期間だけ、EMボカシ室北半面（通常作業）石けんプレハブ（ガス使用）を利用しての活動をしている。EMボカシ作業時には、南半面を使用している

EM ボカシを利用している方から、鶏餌に混ぜている使用であるが最近臭いが出てきて製品が発酵しているのかというクレームがあり、訪問し現状確認したところ、3 か月以上過ぎているものと開封したままの保管であったため、再度 EM ボカシ特性、保管方法等伝えている。今後も利用していくことと情報交換をしていく内容を交わしている。

課題として、EM ボカシ使用用途の可能性の模索、職員の技術向上、EMボカシ知識蓄え（勉強会実施）、年間計画表・製造マニュアル作成があげられる。

〔4〕 リサイクルろうそく

令和 2 年 2 月 14 日、めむろ公園で行われた「氷灯夜」で使用するため、約 4500 本のロウソク（白ロウソク、カラーロウソク、ブライダルロウソク等）を製造し、納品している。利用者一人ひとりが作業をできるように工程を細分化し、それぞれがその役割を理解して実際に作業を行い、製品完成までの流れを作ることができた。作業ではハサミ等の刃物やそのほかにも様々な道具を試用している。このため、怪我がでないようにすること、また道具の紛失がないよう、職員間で確認しあい、作業工程の配慮や道具管理を行った。事業所の活動を広く知ってもらうために、昨年に続き、観光物産協会「呼路歩来」においてろうそく教室を開催した。

〔5〕印刷

単調な作業になりがちであるが、その中でも個々の能力にあった作業を見つけ、技術の向上を目指すことで、作業への充実感を得られるように行っている。

利用者個々の能力に応じた作業を行えるように作業配置（ゴミ袋印刷、袋折、ミスプリント直し等）に配慮した。利用者の機械印刷技術向上のために、印刷方法の確認等を丁寧に行うようにした。職員間での連携と家庭との連絡を取りながら、落ち着いて作業に取り組めるように支援を行っている。

収入、宣伝広告面について、ゴミ袋は役場の注文通りに対応している。シルク印刷については価格設定の見直しを検討している。

製造面について、ゴミ袋印刷作業は年間予定枚数を毎月で割った月毎の目標数値を出して、進行状況を確認しながら行っている。印刷機を担当してきた利用者の異動や役場実習の回数の増加により、やむを得ずに印刷機の稼働を諦めることが多く、印刷ペースの低下につながっている。今後は印刷作業に適正がある利用者の育成や指導に加えて、職員がカバーをしていく必要がある。種類によって前年度の在庫がかなり早い段階で枯渇し、新年度分をまわして対応する必要があった。そのため新年度分の生産が間に合わず、店舗への納品を待っていただくことがあった。在庫が減るペースを予測して欠品のない印刷計画を立てる必要がある。袋折りボランティアのご協力をいただいている各団体との関係性を大切にするため、感謝の気持ちを伝えながら丁寧に対応している。

販売面については、ゴミ袋の品質管理を徹底するため、袋詰めの際は二重チェック体制を取り、見落としを防ぐようにしている。ミスプリントについては都度注意喚起をしている。またミスプリントではないが、傷でハネ品になるものも多い。印刷だけでなく袋折りをを行う利用者も対象に、袋の扱いを丁寧に行うよう話している。シルク印刷の注文が減少、あるいは規模が縮小し、売り上げの減少につながっている。

支出面について、溶剤やセロハンテープなどの消耗品を使いすぎないように気を付けている。また使用量を軽減するための適切な作業の手順や方法について、確認や指導を行った。版を破かないように気を付けて作業をすることができ、製版にかかるコストを抑えることにつながった。

その他、溶剤やインクのおいを軽減するため、換気を意識して行った。冬場の静電気が作業の妨げになるため、加湿に力を入れた。利用者による事故を防ぐため、シンナー等の危険物は出しっぱなしにせず、鍵付きの物品庫にすべてしまうことにしている。シルク印刷の注文への対応に抜けや遅れが生じることがあった。注文書等の確認を怠らないとともに、一人の職員がすべて担うのではなく、複数の職員で情報を共有して分担をする体制を構築する。

〔6〕菓子製造

利用者の支援については利用者各々の要望や身体・精神状態を見極めながらの支援となり、個別対応の場面が増え、作業に向かない場面もあった。本人のやる気と作業精度は比例せず、職員のフォローが欠かせないものになっている。できる限り本人の希望を優先しているが、中には病気からくる身体状態の変化により目を離すことができない状態となっている。しかし、これらのことをふまえつつ、利用者支援の基本として、作業を提供に心がけている。作業は少ない人数で行う場面が多くあり、また、身体を動かす事が難しい利用者や本人の希望で座って行いたい利用者に作業を用意していたものを他の利用者や職員がしてしまい、慌てる事が多々見られたため、優先事項がどこにあるかを職員間で共有を心掛けた。利用者に関しては他の人がしていることをしたいと思う気持ちが強く、その人たちに上手に違う作業を提供することができなかつた反省が残る。

収入面は、パウンドケーキについては今年度も既存の種類を販売している。季節ごとの製品（知リッチフルーツ・さくら）は期間限定にて製造・販売している。新たな種類として、くまパウンド、肉球パウンドなど昨年販売したものを製造数を多くしている。クッキーについても、既存の種類を販売している。季節に応じたスノーマンクッキーやツリークッキーの製造、メルヘンクッキーを入れたクッキーセットの販売も行っている。新たなクッキーの試作を今年度はたくさん行っていることから次年度につなげる。クリスマス時期のシュトーレンについては値上げをし、1,800円と設定して販売をしている。値上げのことで特に問題は見られていない。昨年同様、クリスマス時期を超えてしまった製品については正月用ラッピングにかえて割引販売を行っている。今年度も賞味期限が1週間を切ってしまったパウンドケーキについては割引販売を実施している。サンドイッチの売

り上げが伸びて主力製品になってきている。今後も飽きられないようアイデアを出し合い伸ばして行きたい。季節限定としてラムネ、カキ氷、自家製シロップのソーダの販売を行った。売り上げ増が見込まれることから、次年度も行っていく。

製造面については、パウンドケーキの賞味期限を製造後3週間から1か月と伸ばしたことによって、余裕を持った製造を行うことができた。パウンドケーキの製造量については事前に必要な数を割り出し、それに基づいて製造を行っているが、全体の作業のバランスで不測の事態が起こってしまうと、製造がストップしてしまうことがあり、製造予定を何度も作り直している。クッキー製造に関しては、作業班に所属する利用者が少なくなってしまうことから、大量生産が難しい状況となってしまう。大量生産をしなければならない状況では職員やボランティアの力を借りて作業を回した。型抜きクッキーは利用者の力では製造が難しいため、ボランティアが来訪した時に合わせて製造を行っている。事前にボランティアとの日程調整を行い、それに合わせた形で製造の組み立てを行っている。人事異動があり、初めの3ヶ月は試行錯誤をしながらの運用となった。

販売面については、呼路歩来に関してもパウンドケーキはほぼ売れていない状況のため、今後の対策が必要である。新嵐山荘におかせていただいている「りすクッキー」と「どんぐりクッキー」の販売が好調で、特に集客がある時期には先方より補充の連絡をいただくことが多かった。季節物としてバレンタイン、クリスマスなどの特別な製品を出すことで、店舗の売り上げにつながっている。愛菜屋のオープン時期にはパウンドケーキ、クッキーを販売しているが、場所が変わりお客様の目に留まることが少なくなったため、途中で、レイアウトを変更するなど工夫した。そのことで若干ではあるが、販売数が伸びている。また、パウンドケーキのハートやくまパウンドもおくことができるようになり、今後に期待する。今年度もふるさと納税関係の注文、雲海テラスからのクッキー注文があり、時期によっては大量の注文が入り、年間通して好調であった。即売会時にはパウンドケーキ、クッキーの出品をしている。それぞれの即売会によって客層や売れ筋も異なるため、前年度のデータを基にした出品計画を立てている。新たにパウンドケーキくまや肉球も出品したことで、売り上げ減が小さなものになっている。「公立芽室病院売店」と「とちまちら産直市場」のパンの売り上げは好調で、販売数を伸ばしている。クッキー・パウンドケーキについても販売にこぎつけられるように、積極的にアプローチをしているが、うまく伸ばせることが出来なかった。次年度の課題とする。下半期から新たに「郵便局無人販売」を行っている。毎月クッキー、パウンドケーキが5,000円くらいの売り上げがあり、少なくはあるが、年間通してみると大切な売り上げになっている。ポップなどの工夫によりさらに売り上げが伸びることも期待できるので、次年度の課題とする。店舗や販売店に対するポップなどのレイアウトも得意とする職員が加わったことで、見栄えがよくなっている。サンドイッチの売り上げが好調で、内容をこまめに換えることで、売り上げが伸びてきている。また、販売時にもサンドイッチから売れている。クリスマスオードブルとして、試験的に販売したが、手ごたえがあり、今後に期待が出来る。夏季にカキ氷を販売したが、自家製シロップの活用により収入増につながるということがわかった。次年度はもっと積極的に取り組む。

在庫管理については利用者が行っているが、必ず職員も立ち会った上でミスのないように努めている。店舗の出すタイミングなど利用者では難しい部分もあるため、職員が助言をしている。完成品については品質管理のため、最終的に職員が製品を確認している。

宣伝、広告面については、製品の宣伝のため、即売会時には製品の載ったチラシを配布している。リスどん店舗にて製品の試食を出すことで、製品の味を知ってもらい、購入につなげる取り組みを行っている。FMウイングのラジオ中継の際に製品のPRを行い、製品の認知度アップを行っている。コココーラ社の宣伝ページに新たに掲載することになり、今後の展開が見込んでいる。宣伝の際に何が売りなのかが客に伝わらない部分もあるため、そのことを明確にしたうえで販売職員に周知し、即売会等でのPRにつなげていくことが今後の課題である。フェイスブック、インスタグラムを利用した宣伝活動も行っている。閲覧者が比較的多いため、今後も継続して活用をしていく。道産小麦100%使用であることや安心安全な食材を使用していることのアピールが少ないため、次年度の課題にする。

支出面については、製造に使用する原材料が高騰していることもあり、コストがかかる傾向にある。そのため、不必要な物は製造せず、材料費をカットできるような取り組みを行っている。また、消費税増税に伴い、食品以外のものが高騰している。仕入れに関しては、原材料が値上がりする前に業者からの情報を基に、考えられる範囲の中でまとめ買いを行うことで、値上がり分のコストカットを行っている。小麦粉の価格が安定せず、何度も価格が変わっている。

その他、異物混入がないように確認作業を念入りに行い、事故防止に努めている。長期休み前には工房内の大掃除を必ず実施している。

〔7〕パン製造

利用者支援 [6] の菓子製造と同。

収入面については、今年度も既存の種類を販売している。季節ごとのワンローフ（さくら・蓬・甘夏・キャラメル）は期間限定にて製造・販売している。今年度から前日のパンを割引販売している。そのことで、多少残っても大丈夫との気持ちから日々多くするものを変更し、お客様に喜んでもらえるものを確認しながら製造している。商品開発は、畑で取れたジャガイモを使った商品などを活用することにより販売に結びついている。公立芽室病院売店やとちまち村などの販売店に置かせてもらうことで、商品の周知につなげている。また、新たに郵便局の無人販売を始めている。置く数量は少ないが、まずまずの売り上げがある。また、新たに中札内のぞみ園、みのり園で給食にパンを使ってくれることになり、販売網が広がった。

製造面については、今年度人事異動で、新たな職員が加わった。一度に2から3行程を同時進行しているため、焼成の際の焼きロスが発生してしまうことがあったが、人員が少ない時間帯のため、改善に時間を要した。狭い空間で、なおかつ多工程に及ぶ作業であるため、ミスやトラブルを誘発を防ぐために互いに注意、工夫、連携を意識する。

販売面について、毎日試食用のパンを焼き、確認をしている。外販での売り上げ増を狙い、販売に行った職員から売れ筋を聞くなど対応している。しかし、その日により売れるものが違うため、むずかしいところがあった。外売時に職員によっては統一性が欠け、次年度は反省し表にしてわかりやすくするなど工夫する。「公立芽室病院売店」と「とちまち産直市場」のパンの売り上げは好調で、販売数を伸ばしている。下半期から新たに「郵便局無人販売」を行っている。パンの売り上げが30,000円くらいあり、多くはないが、年間通してみると大切な売り上げになっている。ポップなどの工夫によりさらに売り上げが伸びることも期待できるので、次年度の課題とする。袋詰めの際、刷毛の毛や遺物などのチェックを複数体制で行っているが、忙しくなるとおろそかになりがちになってしまうため、注意する。完成品については品質管理のため、最終的に職員が製品を確認している。店舗や販売店に対するポップなどのレイアウトも得意とする職員が加わったことで、見栄えがよくなっている。

宣伝広告面は、製品宣伝のため、即売会時には製品の載ったチラシを配布している。リスどん店舗にて製品の試食を出すことで、製品の味を知ってもらい、購入につなげる取り組みを行っている。FMウイングのラジオ中継の際に製品のPRを行い、製品の認知度アップを行っている。コカコーラ社の宣伝ページに新たに掲載することになり、今後の展開が見込める。宣伝の際に何が売りのかが客に伝わらない部分もあるため、そのことを明確にし、販売職員に周知し、即売会等でのPRにつなげていくことが今後の課題である。パンもフェイスブック、インスタグラムを利用した宣伝活動を行っている。頻繁に更新することは難しいが、閲覧者が比較的多いため、今後も継続して活用をしていく。道産小麦100%使用であることや安心安全な食材を使用していることのアピールが少ないため次年度の課題にする。

支出面については、製造に使用する原材料が高騰していることもあり、コストがかかる傾向にある。そのため、不必要な物は製造せず、材料費をカットできるような取り組みを行っている。また、消費税増税に伴い、食品以外のものが高騰している。仕入れに関しては、原材料が値上がりする前に業者からの情報を基に、考えられる範囲の中でまとめ買いを行うことで、値上がり分のコストカットを行っている。小麦粉の価格が安定せず何度も価格が変わっている。また、主に使用していた銘柄が廃盤となり、新たな小麦粉を試している。今後は十勝産100%になる予定である。

その他、異物混入がないように確認作業を念入りに行い、事故防止に努めている。

長期休み前には工房内の大掃除を必ず実施している。